

園だより

第1号

令和5年4月6日



ほめて伸ばす 人を追い込まない

園長 加藤 邦彦

私事で恐縮ですが、私が子どもの頃、親戚の家で茶碗洗いの手伝いをしていると、おばさんから「上手だね」とほめられました。そのことがきっかけとなり、私は今でも茶碗洗いはもとより、掃除や洗濯が苦ではありません。私は3人の子どもを育てましたがほめて伸ばすことが、よい影響をもたらしたことは、言うまでもありません。それはさておき、私はかつて、ある職場で上司のパワハラにより、職場に出勤することができなくなりました。辛い思いをしましたが、今となれば人は追い込まれると、どんな状況になるのかを身をもって知る、よい経験となりました。

「ほめて伸ばす」「人を追い込まない」が、私の信条です。

教育相談について

札幌市の市・私立幼稚園では子育てについての悩みなどの相談を受けています。当園でも教育相談を行っておりますので、心配なことなどありましたらおひとりで悩まずにご相談ください。（通園されている方以外も対応いたします。）

- ことばや発音が気になる
- 生活の様子で気になることがある
- お子さんへの関わり方について
- お友達のことについて

*園に直接いらっしゃる場合は事前に連絡をください。

受付窓口： 園長 ☎ 641-0551

受付時間 10時～12時



令和5年度の教育にあたって

令和5年度の教育計画作成にあたり、ばんけい幼稚園の教育について、以下に示したことを重点としました。新しい時代に求められる生きる力を育むために園・学校・家庭・地域で共有していきたいと考えています。また、預かり保育、未就園児保育、教育相談等、子育て支援としての役割も担ってまいります。皆様にはご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

1 教育の基本方針

教育は、子どもの望ましい発達をめざし、子どものもつ潜在的な可能性に働きかけ、その人格の形成を図る営みです。とりわけ、幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っています。

そのために、幼稚園には教育機関として、遊びや生活といった直接的・具体的な体験を通して、人と関わる力や思考力、感性や表現する力を育み、生きていくための力の基礎を育てることが求められています。

そうした中で、人格の形成はもとより、子どもへの教育やその子の発達に様々な望ましい効果をもたらす自尊感情（自己肯定感）を高めることを重点とした教育を展開します。

2 今年度の保育の重点

(1) ほめてのばす教育

子どもの良いところをタイムリーにほめ、子どもへの肯定的な働きかけを積み重ねながら、自尊感情（自己肯定感）を高めます。

(2) 恵まれた自然を生かした教育

恵まれた自然の中での遊びを通して、子どもの意欲や興味関心を高めたり、感性を磨き、心も体も健康な子どもを育てます。

(3) 音楽・表現に力を入れた取組

リトミック、英語の活動に取り組むとともに、青組の合唱の取組の成果を『ばんけいミュージックフェスティバル2023』で発表します。

《 ばんけい幼稚園の保育形態 》

ばんけい幼稚園の保育形態は異年齢のクラス編成になっています。

年少児は3歳児としての生活を十分に満足させることで園生活に慣れていくと考え、学年での生活が主となります。1，2学期はいろいろな活動や好きな遊びを通して異年齢の友達との関わりが持てるよう援助し、3学期になってから年中児との生活クラスとなります。

年中、年長児は異年齢の友達との関わりの中で生活や遊びに刺激を受け、経験を深めていくことを目指しています。同時にその年齢の発達段階にあわせた活動も経験できるように、年齢別の活動も大切にしていきます。